

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	20220010	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	次世代幹細胞治療のための生物機能 改変技術の開発	研究代表者 (所属・職)	田畑 泰彦（京都大学・再生医科学 学研究所・教授）

【平成23年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>間葉系幹細胞への遺伝子導入と細胞培養法を構築して、幹細胞の機能改変を目指した研究が展開されている。カチオン化プルランとプラスミド DNA のコンプレックスを用いて効率良く遺伝子導入する手法を開発し、ドーパミン分泌神経細胞への分化誘導を可能にした。さらに、三次元スポンジからのプラスミド DNA のコントロールリリースを利用した方法を開発しており、予定した成果が挙げられている。研究成果の公表や、異分野の共同研究なども順調である。一方、今後再生医療への具体的な応用及び培養した細胞・組織の安全性や安定性等について、前倒しで研究が展開することを期待する。</p>	